

新潟日報社および新潟日報会と災害時の支援協定を締結

－ 被災地域の住民へ支援物資を緊急支援 －

株式会社ブルボン（本社：新潟県柏崎市、代表取締役社長：吉田 康）は、株式会社新潟日報社および新潟日報会と「災害時等における被災地域住民へ緊急支援に関する協定」を 2023 年 1 月 31 日（火）に締結いたしました。

新潟県内での大規模災害に備えるとともに、災害発生時に 3 社で連携・協力して迅速な緊急支援が可能な体制を整備いたします。

記

1. 協定の名称 「災害時等における被災地域住民への緊急支援に関する協定書」
2. 協定の目的 この協定は、災害等発生時において救助に必要な支援物資の円滑な提供を目的とします。
3. 協定の概要（一部要約）

○要請について：

新潟県内で災害等が発生した場合に、㈱新潟日報社が被災地域の新潟日報会から担当エリア内の被害状況をできるだけ詳しく聴き取り、支援物資の提供を㈱ブルボンに要請します。

○支援物資の範囲：

㈱ブルボンは要請に応じて、すぐに提供できる食べ物や飲み物の種類や量に応じて柔軟に対応します。

○支援物資の引き渡し：

支援物資は基本的に被災地域の新潟日報会拠点販売店まで㈱ブルボンが運搬し引き渡します。㈱新潟日報社と新潟日報会は協力して小分け配送を行い、被災地域の複数の新潟日報販売店へ支援物資を届けます。当該新潟日報販売店は店頭で支援物資を提供したり、担当エリア内の避難所に持ち込んだりすることで、被災した人々への迅速な配布に努めます。

○平常時の協力：

国や県が推奨する「ローリングストック」という、防災関連物資を日常使用しながら循環式備蓄をする考え方の周知・普及に努めます。

㈱ブルボン、㈱新潟日報社、新潟日報会の 3 社が密接に連携し、日頃から情報共有や意見交換を行いながら「災害に強い新潟県」づくりに貢献してまいります。

4. 背 景

(株)ブルボンは1924年（大正13年）に創業者である吉田 吉造（よしだ きちぞう）が、前年の関東大震災の影響により地方への菓子供給が全面ストップした窮状を見て「地方にも菓子の量産工場を」と決意し、新潟県柏崎駅前で創業しました。

(株)ブルボン「利害相反する人を含めて、集団の生存性を高める」という経営理念のもと、災害等の困ったときにお役に立てる企業として、新潟豪雨、阪神淡路大震災、新潟県中越地震、スマトラ沖地震、能登半島沖地震、新潟県中越沖地震、中国・四川汶川地震、岩手・宮城内陸地震、ハイチ大地震、中国・青海玉樹地震、東日本大震災、西日本豪雨など、国内外の多くの被災地へ支援物資や義援金をお贈りするなど被災地の復旧に協力してまいりました。

特に2007年（平成19年）7月に発生した新潟県中越沖地震では、当社も本社および本社工場等が被災の状況でありましたが、地元への支援チームを組織し震災当日より柏崎市内の各避難所、事業所等へミネラルウォーターおよびお菓子の支援物資を従業員が持参でお届けしました。また、NPO法人に協力し、コミュニティーセンターでの炊き出し作業の人的協力や、仮設住宅に入居されている全戸にギフト商品を訪問してお届けするなど、被災地復興への協力活動を実施してまいりました。

以 上